

第75回 金融政策シナリオ調査

平成26年(2014年)春号
上田八木短資株式会社
(調査日4/3~4/9、発表日4/11)

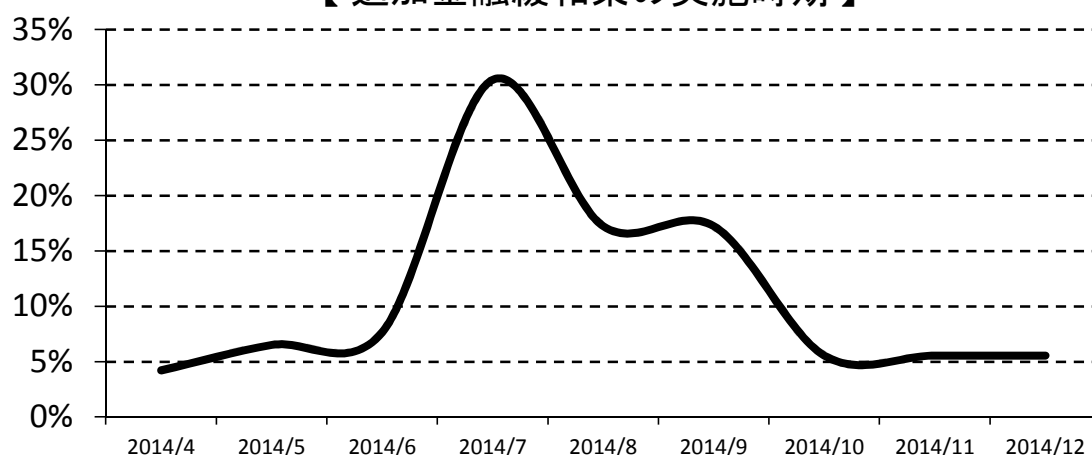
調査件数 103件
調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

(1)-1 日本銀行が次に行う金融緩和策について。(5者択一でのアンケート)

No.	選択肢	回答結果
3.	リスク性資産(ETF等)買入オペの増額	63.1%
2.	国債買入オペの増額	19.4%
1.	追加の金融緩和策は行わない	15.5%
4.	成長基盤強化オペの拡充	1.9%
5.	その他(外債買入・株買入等)	0.0%

(1)-2 (1)-1で1以外に回答頂いた方へのアンケート
次に行う金融緩和策の実施時期はいつか。

【追加金融緩和策の実施時期】



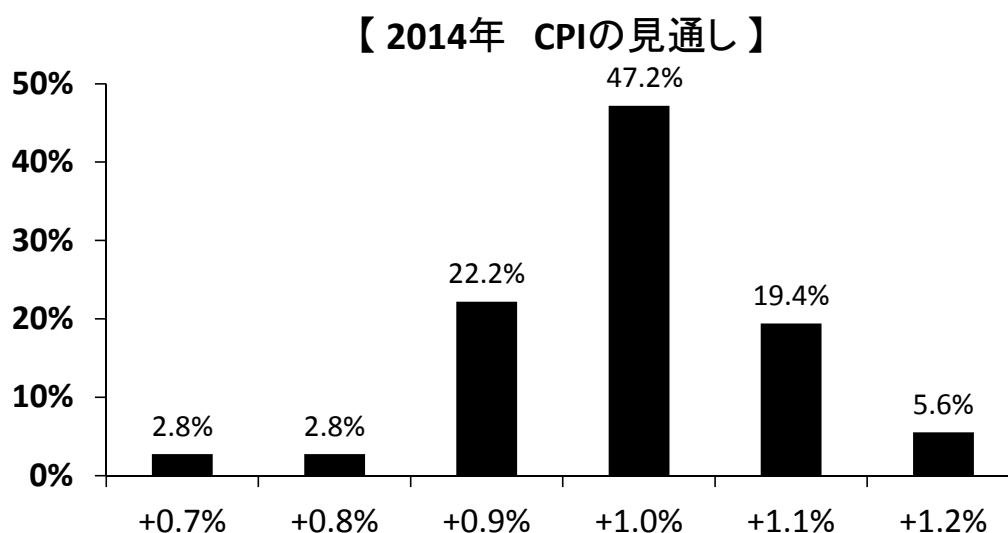
(2) 日本銀行が、質的・量的金融緩和策の縮小を開始し、マネタリーベース残高を減少させ始めるのはいつか。(5者択一でのアンケート)

No.	選択肢	回答結果
5.	それ以降(2017年以降)	38.8%
4.	2016年下期	32.0%
3.	2016年上期	24.3%
2.	2015年下期	4.9%
1.	2015年上期	0.0%

- (3)－1 日本銀行の公表した、CPI：+0.9～+1.6〔中央値+1.3〕について。
 (CPIの値:2014年1月展望レポート見直し 消費税率引き上げの影響を除くケース)
 (3者択一でのアンケート)

No.	選択肢	回答結果
1.	適正	64.1%
2.	強気	35.9%
3.	弱気	0.0%

- (3)－2 (3)－1で1以外に回答頂いた方へのアンケート
 CPIの適正な見通しはどの程度か。



今回の調査時点(4/3～4/9)の結果 今回のアンケートの結果は上記のようになりました。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。